

Information

第20回 日本精神科救急学会学術総会

【テーマ】精神科救急と社会に生きる【日時】10月27日(土)～28日(日)【会場】奈良県新公会堂(奈良市)【大会長講演】「精神科救急と社会に生きる」岸本年史(奈良県立医科大学)【理事長講演】「改めて地域精神医療と精神科救急 学会設立から、担当させてもらった7年を振り返る」澤温(さわ病院)【プレナリーレクチャー】「Integrating emergency psychiatry in a community-based system of care」Michele Tansella (University of Verona)【シンポジウム】1「精神科救急の国際比較」Evan H. Garner (Alameda County Medical Center)・Michele Tansella・阿部又一郎(Université Paris X)・杉山直也(沼津中央病院)／2「急性精神病の再考 診断と治療から」須賀英道(龍谷大学保健管理センター)・加藤悦史(愛知医科大学)・船山道隆(足利赤十字病院)・岡野慎治(三重大学保健管理センター)／3「精神科救急・急性期病棟における禁煙の推進」高橋裕子(奈良女子大学保健管理センター)・古郡規雄(弘前大学)・橋本和典(奈良県立医科大学)・村井俊彦(宇治おうばく病院)・赤池孝章(熊本大学)／4「精神科救急と強制権」武井満(群馬県立精神医療センター)・山本輝之(成城大学)・村田清(奈良県医療政策部保健予防課)・高橋良斉(関西記念病院)／5「自殺と精神科救急」河島譲(厚生労働省障害保健福祉部精神・障害保健課)・野田哲朗(大阪府立精神医療センター)・橋本聡(熊本医療セン

ター)・竹島正(国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所自殺予防総合対策センター)／6「急性期・救急病棟の施設環境のあり方」中山茂樹(千葉大学)・鈴木慶治(共同建築設計事務所)・平田豊明(千葉県精神科医療センター)・檜晋輔(さわ病院)／7「診療所・クリニックと精神科救急の役割」堤俊仁(つつみクリニック)・森山稔弘(千葉県精神科医療センター)・羽藤邦利(代々木の森診療所)・渡邊治夫(さわ病院)／8「精神科救急における物質関連障害の治療的対応」成瀬暢也(埼玉県立精神医療センター)・長徹二(三重県立こころの医療センター)・松本俊彦(国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所)・小林桜児(国立精神・神経医療研究センター病院)・森田展彰(筑波大学)【急性期入院治療研究委員会】「新たな精神科救急医療体制の構築に向けて 医療法・精神保健福祉法などの法改正と精神科救急医療」友利久哉(厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部精神・障害保健課)・澤温・平田豊明・杉山直也【教育講演】「災害メンタルヘルスにおける長期的展望：2001年に起きたエルサルバドル地震および米国多発テロ事件における経験から」Craig Katz (Mount Sinai School of Medicine)【参加費】会員10000円、非会員14000円、研修医・医師以外8000円、学生無料(学生証提示)。懇親会5000円【問い合わせ】〒604-8162 京都市中京区烏丸通六角下る七観音町634 コンベンションリンケージ内【TEL】075-231-6357【FAX】075-231-6354【E-mail】jaep2012@c-linkage.co.jp【URL】

<http://www.c-linkage.co.jp/jaep2012/>

第53回 日本児童青年精神医学会総会

【テーマ】児童青年精神科医療と発達【日時】10月31日(水)～11月2日(金)【会場】都市センターホテル、シェーンバッハサボー(千代田区)【会長講演】「児童青年精神科医療の来し方行く末 梅ヶ丘病院の臨床経験から」市川宏伸(東京都立小児総合医療センター)【特別講演】1「Child psychiatry in England」Eric Taylor (University of London)／2「児童青年精神科医療についての方向性」厚生労働省精神・障害保健課長／3「現在の精神科臨床における児童精神医学の意義」牛島定信(三田精神療法研究所)／4「Thinking, Learning and Understanding in People with Autism Spectrum Disorders: The TEACCH Approach」Gary B. Mesibov (University of North Carolina at Chapel Hill)【教育講演】1「WISC-IV 知能検査 改訂の趣旨と活用の変化」大六一志(筑波大学)／2「ひきこもりと発達障害」近藤直司(東京都立小児総合医療センター)／3「児童虐待と脳科学」友田明美(福井大学子どものこころの発達研究センター)／4「発達障害とアセスメント」安達潤(北海道教育大学旭川校)／5「視覚認知と発達障害」川端秀仁(かわばた眼科)／6「精神疾患の診断と統計マニュアル第5版(Diagnostic and Statistical Manual of Mental Disorders, fifth edition: DSM-5)における児童思春期精神疾患の診断基準の

展望」齊藤卓弥（日本医科大学）／7「大人の発達障害専門外来で見えてきたもの 発達期の彼らはどういう人たちだったかを探る試み」加藤進昌（昭和大学附属鳥山病院）／8「発達障害と矯正医療」桝屋二郎（関東医療少年院）／9「インターネットが子ども達の友人関係に与えた影響」山脇由貴子（東京都児童相談センター）／10「ADHDにおける生物学的診断と客観的評価」飯田順三（奈良県立医科大学）／11「児童思春期の認知行動療法のポイント」下山晴彦（東京大学）／12「日本の学校における自殺予防プログラムの具体的展開に向けて 教員と意識調査と米国・豪州のプログラムとの比較検討からみえてくるもの」阪中順子（四天王寺学園小学校）【先達にきく】1「脳科学との接点と児童精神医学臨床」中根晃（交通遺児育英会）／2「若年発症の統合失調症について、注意していること」弟子丸元紀（益城病院）【共催セミナー】1「成人期のADHD診断と支援を巡る問題点」田中康雄（こころとそだちのクリニックむすびめ）／2「児童青年期における精神病状態：発達障害や気分障害との関連も含めて」岡田俊（名古屋大学医学部附属病院）／3「小児の統合失調症（childhood schizophrenia）」松本英夫（東海大学）／4「発達障害の医療と生活の交差点 オリジナル画像を使って」笹森理絵（クロスジョブ神戸就労移行支援事業所）ほか【参加費】当日のみ。会員 10000 円、一般 12000 円、学生 6000 円【問い合わせ】〒102-0075 千代田区三番町2 三番町 KS ビル コンベンションリンケージ内【TEL】03-3263-8688【FAX】03-

3263-8693【E-mail】jde53@c-linkage.co.jp【URL】http://www.jascapmeeting.com/53/

第 23 回日本嗜癪行動学会

【テーマ】嗜癪問題と社会のつながり 地域で一緒に暮らそう！【日時】11月3日（祝・土）～4日（日）【会場】秋田市にぎわい交流館（秋田市）

【ミニシンポジウム】「被災地支援とアディクション」香山雪彦（福島学院大学）・鈴木俊博（東北会病院）【特別講演】「これからの自殺対策」本橋豊（秋田大学）【教育講演】I「脱法ハーブの正体：合成カンナビノイドの薬理作用とその乱用危険性について」船田正彦（国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所）／II「アディクションの回復におけるグループセラピーの意義」田辺等（北海道立精神保健福祉センター所長）【市民公開講座】I「地域で依存症とともに生きる」大嶋栄子（NPO法人リカバリー）・月乃光司（「こわれ者の祭典」）・佐藤孝（秋田マック）・後藤恵（成増厚生病院）／II「嗜癪行動とPIAS（サイトウ式逆説的介入アプローチ）」齋藤学（家族機能研究所）【参加資格】会員、守秘義務を負う専門家（学校教員およびそれぞれの課程の学生を含む）。市民公開講座は資格問わず【参加費】会員 7000 円、非会員 8000 円、学生（院生除く）3000 円。懇親会 6000 円。市民公開講座のみ参加 1000 円【問い合わせ】〒106-0045 東京都港区麻布十番 2-14-6 イイダビル 2F 家族機能研究所内事務局【TEL】03-5476-6041【FAX】03-5476-6543【URL】http://

www.shiheki-2012.com/

日本ロールシャッハ学会 第 16 回大会

【日時】11月3日（土）～4日（日）【会場】明治大学駿河台キャンパスリパティタワー【参加費】当日：会員 9000 円、臨時会員（一般）10000 円、院生・学生 7000 円。親睦会：会員・一般 5500 円、院生・学生 5000 円【問い合わせ】〒101-8301 千代田区神田駿河台 1-1 明治大学心理臨床センター内【FAX】03-3296-4165【E-mail】jsrpm16@meiji.ac.jp【URL】http://www.kisc.meiji.ac.jp/~jsrpm16/program.html

第 9 回日本周産期 メンタルヘルス研究会学術集会

【テーマ】ハイリスク妊娠とメンタルヘルス【日時】11月10日（土）～11日（日）【会場】JA 共済ビルカンファレンスホール（千代田区平河町）【参加費】会員 3000 円、非会員 4000 円、学部・大学院学生 1000 円。研修会は別途 3000 円【申込先】〒113-8421 東京都文京区本郷 2-1-1 順天堂大学産科婦人科学教室内事務局【FAX】03-5802-2480【E-mail】mieya@juntendo.ac.jp【URL】http://pmh.jp/index.html

第 4 回 日本こころとからだの 救急学会 総会・学術大会

【テーマ】災害時に必要な医療を考える【日時】11月10日（土）【会場】政策研究大学院大学（港区六本木）【基調講演】上條吉人（北里大学）

小誌では、できるかぎり多くの「生情報」を掲載したいと思っています。
イベントを企画されている方、広報を担当されている方は、
ぜひ小誌編集室までご一報ください。
FAX. 03-5804-0485 E-mail: seikan@igaku-shoin.co.jp

【教育講演】1「災害時に求められる医療は何か? 自然災害における救護活動8回の経験から」内藤万砂文(長岡赤十字病院救命救急センター)／2「福島第一原発事故の教訓」寺澤秀一(福井大学)／3「災害における全人的ケア 急性期から復興期まで」村上典子(神戸赤十字病院心療内科)／4「福島における震災・原発事故とメンタル・ヘルス」丹羽真一(福島県立医科大学会津医療センター準備室)【パネルディスカッション】「被災地医療でできること、やりたいこと」宮岡等(北里大学)・石井武彰(九州大学)・河野悠介(相馬中央病院)・坪倉正治(東京大学医科学研究所)・本谷亮(福島県立医科大学医療人育成・支援センター)【ランチョンセミナー】「南相馬市における神経難病の現状と対策:特にALSについて(仮題)」【参加費】当日:会員10000円、非会員15000円、学生会員3000円、学生非会員5000円。懇親会:当日会員・非会員3000円、学生1000円【申し込み】下記ホームページの登録フォームより【問い合わせ】〒164-0003 東京都中野区東中野4-27-37 アドスリー内 事務局【TEL】03-5925-2840【FAX】03-5925-2913【URL】http://psych.er.adthree.com/conf/4th_conference.html

第20回日本精神障害者リハビリテーション学会

【テーマ】“開国の地から新たな20年を問う”【日時】11月16日(金)～18日(日)【会場】横須賀市文化会館・神奈川県立保健福祉大学【サテライト企画】「幻

想妄想かるた de アンサンブル」即興楽団UDjeと就労継続支援B型事業所ハーモニー【映画上映】「人生、ここにあり!」【大会長講演】「リハビリテーション概念の再考」松島信雄(神奈川県立保健福祉大学)【シンポジウム】I「開国の地から精神障害者リハビリテーションの現状を問う」II「精神障害者リハビリテーションの新たな20年を拓く」【大会企画ワークショップ】「精神障害者リハビリテーションの今後を若手が語る～自分たちに何ができるか」「教育現場における、精神保健関連の対応が必要とされる児童・生徒の支援について」「医療観察制度内での「リスク」と「ストレングス」をどう考えるか～連携型のケアの中で本人の希望をいかに実現するか」「当事者のリカバリーを考えたカンファレンスのあり方」「各施設でのロングスティを考える」【参加費】当日:会員8000円、非会員9000円、当事者・家族・学生1000円。懇親会:会員・非会員5000円、当事者・家族・学生2000円【申し込み】詳細はホームページに掲載【問い合わせ】〒233-0002 横浜市港南区上大岡西1-12-3-204 横浜メンタルサービスネットワーク内 大会事務局【TEL】045-841-2179【FAX】045-841-2189【E-mail】japr2012@yahoo.co.jp【URL】<http://forest-1.com/ymsn/japrkanagawa/index.html>

日本精神科診断学会

【テーマ】生きた診断学の構築を目指して【日時】11月22日(木)～23日(金)【会場】カルチャーリゾート・フェストーネ(沖縄県

宜野湾市)【シンポジウム】1「DSM-5の動向」松本ちひろ(東京医科大学)・車地暁生(東京医科歯科大学)・松永寿人(兵庫医科大学病院)・井上弘寿(自治医科大学)／2「Mixed featuresをめぐる動向」阿部隆明(自治医科大学)・内海健(東京芸術大学保健管理センター)・川崎弘詔(九州大学)・田中輝明(北海道大学)／3「成人の発達障害を取り巻く問題」野呂健二(名古屋大学発達心理精神科学教育研究センター)・高良聖治(琉球大学)・井上勝夫(北里大学)・金井智恵子(相模女子大学)／4「補助診断としてのNIRS」青山義之(群馬大学)・小池進介(東京大学学生相談ネットワーク本部)・松尾幸治(山口大学)・辻井農亜(近畿大学)【問い合わせ】〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1-3-6 第三博多偕成ビル コンベンションリンケージ【TEL】092-437-4188【FAX】092-437-4182【E-mail】jspd32@c-linkage.co.jp【URL】<http://www.c-linkage.co.jp/jspd32/index.html>

第12回日本認知療法学会

【テーマ】多職種による協働をめざして チームによる認知療法【日時】11月23日(金)～24日(土)【会場】東京ビックサイト(江東区有明)【大会長講演】『ソクラテスの耳』多職種による協働を目指して「堀越勝(国立精神・神経医療研究センター 認知行動療法センター)【基調講演】「不安障害治療のための現代の認知行動的方略」Stefan G. Hofmann(ボストン大学)【特別講演】1「CBTを超えて:身体疾患に対する連携

治療に用いられる統合的行動医学」Katharine Larsson（ボストン行動医学センター）／2「From this patient to that trial, to those trials, and back 精神療法の実践にエビデンスを活かす」古川壽亮（京都大学）【**トレーニングプログラム**】「認知行動療法センターのトレーニングプログラムの一部を体験しよう」堀越勝・大野裕【**大会企画シンポジウム**】1「看護師が実践する認知行動療法における多職種連携を考える」白石裕子（宮崎大学）・岡田佳詠（筑波大学）・則包和也（弘前大学）・北野進（都立松沢病院）・石川博康（同）・國方弘子（香川県立保健医療大学）／2「災害後支援」大野裕・金吉晴（国立精神・神経医療研究センター）・松本和紀・高橋葉子・大澤智子（東北大学）・大塚耕太郎（岩手医科大学）・田島美幸（国立精神・神経医療研究センター）／3「一般身体医療における認知行動療法とチーム医療」藤澤大介（国立がん研究センター東病院臨床開発センター）・藤澤大介（同センター）・巢黒慎太郎（住友病院）・新明一星・山田麻紀・堀越勝・中島恵子（帝京平成大学）・能野淳子／4「職場における遠隔認知行動療法プログラムの展開」川上憲人（東京大学）・古川壽亮・今村幸太郎（東京大学）・衛藤理砂（北里大学）【**自主シンポジウム**】「双極性障害に対する心理社会的治療の現在」北川信樹（北海道医療大学）・水島広子（水島広子こころの健康クリニック）・奥山真司（仁大クリニック）・秋山剛（NTT 東日本関東病院）／「再考セルフモニタリング！ 事例を通してその重要性和効果について改めて考える」伊藤絵美（洗足ス

トレスコーピング・サポートオフィス）・吉村由未（同）・津高京子（同）・初野直子（同）・神村栄一（新潟大学）／「日本における境界性パーソナリティ障害などの感情調節困難のための治療実践の試み」遊佐安一郎（長谷川メンタルヘルス研究所）・松野航大（早稲田大学）・井合真海子（同）・須川聡子（東京大学）・森美加（東京慈恵会医科大学）・東斉彰（広島国際大学）／「司法領域における認知行動療法の試み PFI 刑務所での CBT プログラム」堀越勝・菊池安希子（国立精神・神経医療研究センター）・勝田浩章（小学館集英社プロダクション）・根本光隆（同）・高岸百合子（駿河台大学）・國古美也子（播磨社会復帰促進センター）・野村俊明（日本医科大学）、他【**研修会（ワークショップ）**】25日（日）「統合的行動医学：心理的要因が関与する身体症状の治療」Katharine Larsson／「社交不安障害の治療」Stefan G. Hofmann／「ストレスマネジメントに活かす認知行動療法の発想とスキル」伊藤絵美／「看護に活かす認知行動療法 国内の看護実践にどう取り入れるか」岡田佳詠・北野進・矢内里英・白石裕子／「病的ギャンブリング（PG）に対する認知行動療法：集団療法・個人介入」神村栄一／「認知行動療法をはじめよう！：まずはおさえておきたい技法のポイント」鈴木伸一／「動機づけ面接～面接によって人と関わる全ての人のために」原井宏明／「外来診療における認知行動療法の活用法」原田誠一／「アクセプタンス&コミットメント・セラピー（ACT）」武藤崇／「不眠症に対する短期睡眠行動療法」渡辺範雄／「うつ

集団認知行動療法」集団認知行動療法研究会（対象者：入門・初級、定員：60名）／「行動活性化療法は活動スケジュールと何が違うのか」熊野宏昭／「マインドフルネス認知療法」越川房子／「境界性パーソナリティ障害などの感情調節困難のための認知行動療法」遊佐安一郎【**参加費**】当日：会員8000円、非会員9000円、学生（大学院生の医師を除く）4000円（抄録代2000円別途）、懇親会8000円〔ワークショップ参加費〕外国人講師（逐次通訳付き）15000円、6時間13000円、3時間7000円【**申し込み**】下記ホームページ内登録フォームより【**問い合わせ**】〒100-105 東京都千代田区丸の内3-4-2 JTB 法人東京 法人営業丸の内支店内【**E-mail**】jact12@bwt.jtb.jp【**URL**】http://www.jact12.jp/

日本精神衛生学会第28回大会

【**テーマ**】ゆれる日本を生きるつながりのしくみと科学【**日時**】11月24日（土）～25日（日）【**会場**】東京農工大学小金井キャンパス（東京都小金井市）【**大会長講演**】「学生相談から精神衛生を語る」早川東作（東京農工大学）【**シンポジウム**】「南相馬をともに歩む」番場さち子（番場塾）ほか【**教育講演**】「ゆれる社会の不安と空気に向き合う」上田紀行（東京工業大学）【**特別講演**】「つながりでひらく未来」湯浅誠（自立生活サポートセンターもやい）【**大会企画鼎談**】「点から面へ、個性をのぼす生涯サポートを考える」中村俊（東京農工大学）・木下勇（千葉大学）・小柴満美子（東京農工大学）・山内秀雄（埼玉医科大学）【**参加費**】

当日：会員 6000 円、非会員 7000 円、学生はいずれも 3000 円。懇親会 4000 円【申し込み】詳細は下記ホームページより【ワークショップ】23 日（金・祭）「支援コーディネーターコース “事例研究－連携”」PART 1、2【内容】1-①「虐待 子どもと家族支援」中野明徳（福島大学総合教育研究センター）・②「復職支援 “失敗しないメンタルヘルス支援 休職・復職を中心に”」大西守（日本精神保健福祉連盟）／2-③「現場の力とこころのケア 被災者支援を検証してみよう」高塚雄介（メンタルクライシス・レスポンスチーム）・④「東日本大震災の被災住民と支援者の心をささえる岩手県田野畑村における『お手伝い』活動」喜多祐荘（前中部学院大学）[定員]各 25 名（先着順）[参加費]1 コマ 4000 円、2 コマ 7000 円【問い合わせ】〒184-8588 東京都小金井市中町 2-24-16 東京農工大学小金井キャンパス内事務局【E-mail】seishin_eisei28@yahoo.co.jp【URL】http://jamh2012.jp/

第 25 回 日本総合病院精神医学会総会

【テーマ】新たなチーム医療の展開に向けて【日時】11 月 30 日（金）～12 月 1 日（土）【会場】大田区産業プラザ（東京都大田区）【特別講演】「チーム医療の展開とリエゾン精神医学」福井次矢（聖路加国際病院）【会長講演】「タイプ A、グループ療法、そしてチーム医療へ」保坂隆（聖路加国際病院）【参加費】会員・非会員 12000 円、コメディカル 6000 円、学生（院生除く）・研修医は無料。ただし、

会員以外は抄録代別途。懇親会は無料【問い合わせ】〒171-0021 東京都豊島区西池袋 4-8-14 ディモラ西池 4 丁目 101 室 オフィスメディカル企画内事務局【TEL】03-3981-7796【FAX】03-3981-7796【E-mail】h-gatkai2-omp@mirror.ocn.ne.jp【URL】http://jsghp25.umin.ne.jp/index.html

第 28 回 日本ストレス学会学術総会

【テーマ】ストレス科学が地域を支援できるか【日時】11 月 30 日（金）～12 月 1 日（土）【会場】会議・研修施設 ACU（アキュ）（札幌市中央区）【特別講演】1「トップアスリートはどのようにストレスに対応しているか」福島千里（陸上競技（短距離）選手）・中村宏之（北海道ハイテク AC コーチ）／2「地域医療のストレス」村上智彦（NPO 法人ささえる医療研究所）【会長講演】（対談）「地域におけるうつ病予防と認知行動療法」坂野雄二（総会会長）・大野裕（国立精神・神経医療研究センター 認知行動療法センター）【シンポジウム】「地域社会がストレス科学に求めるもの」「地域小規模事業所におけるストレスケア」「地域高齢者支援のストレス科学」（仮題）「ストレスケアと IT 技術」「定期健康診断時のストレスチェック」（仮題）「災害ストレス対策を地域支援の観点から見直す」（仮題）【研修会】（別途有料、定員各 50 名予定）1「学校におけるストレスマネジメントの実践」（3 時間）嶋田洋徳（早稲田大学）／2「職場におけるストレスチェックとその活用」（3 時間）

島津明人（東京大学）／3「地域における高齢者の生活支援プランの立て方」（3 時間）百々尚美（北海道医療大学）／4「地域のうつ病予防にむけた集団認知行動療法の実際」（3 時間）北川信樹（北海道医療大学）・ファシリテーター／5「自律訓練法の実践」（日本自律訓練学会共催）（6 時間）佐々木大輔（弘前大学名誉教授）・坂入洋右（筑波大学）・細谷紀江（学習院大学学生センター学生相談室）【参加費】事前登録（10 月 26 日まで）会員 7000 円、非会員 8000 円。当日：会員 8000 円、非会員 9000 円、学生はいずれも 3000 円。ただし、非会員、学生非会員は別途抄録代 2000 円。懇親会 5000 円【研修会参加費】1～4（3 時間）事前登録：会員 4000 円、非会員 5000 円。当日：会員 5000 円、非会員 6000 円。学生はいずれも 3000 円。5（6 時間）事前登録：会員 8000 円、非会員 10000 円、当日：会員 10000 円、非会員 12000 円、学生はいずれも 6000 円。当日受付は空きがある場合のみ【申し込み】下記ホームページ登録フォームより【問い合わせ】〒163-1066 新宿区西新宿 3-7-1 新宿パークタワー 27 階 JTB 法人東京 第 3 事業部営業第 2 課（担当：村田・宮田）【TEL】03-5909-8103【FAX】03-5909-8111【E-mail】stress28@bwt.jtb.jp【URL】http://www.pac.ne.jp/stress28/

SST 普及協会 第 17 回学術集会 in 埼玉

【テーマ】SST の本質を探る【日時】12 月 7 日（金）～8 日（土）【会場】大宮ソニックシティ（さいた

ま市大宮区)【参加費】当日：会員 10000 円(賛助会員は1施設3名まで会員扱い)、非会員 12000 円、学生・当事者：当日のみ 3000 円【大会ブログ】www.ameblo.jp/sst2012【問い合わせ】大会事務局：SST 普及協会南関東支部埼玉 SST 研究会【E-mail】saitama-sst@saitamania.com【URL】<http://www.smet.jp/sst-17>

聖路加国際病院看護部 第 9 回看護実践講座

【テーマ】事例を通して学ぶがん患者とナースのための心のケア
【日時】12 月 15 日(土)【会場】聖路加国際病院 旧館 5 階研修室 A【事例検討】1「うつ・希死念慮の評価と対応」保坂隆(精神腫瘍科)／2「認知行動療法と家族への対応」保坂隆【グループワーク】「ケアする人のケア ナースのストレスマネジメント」紺井理和(リエゾン精神看護師)【参加費】

5000 円【定員】80 名【申し込み】(1)ハガキまたは封書(1人1枚)に ①参加者氏名 ②勤務先・所属 ③連絡先住所・電話・FAX・e-mail アドレスを明記のうえ、下記まで送付【締め切り】11 月 17 日(土)(消印有効)【申し込み・問い合わせ】〒104-8560 東京都中央区明石町 9-1 聖路加国際病院看護管理室 中村めぐみ【FAX】03-3544-0649【E-mail】nurse@luke.or.jp【URL】http://www.luke.or.jp/home/pdf/nurse_jissen_annai_2012.pdf

え い が の お し ら せ



映画「39窃盗団 サンキューセっとうだん」

刑法39条があるから大丈夫!?

兄と弟が紡ぎだす緊張感ゼロの、ゆるゆるドロボームービー

兄キョタカ(押田清剛)、ダウン症。弟ヒロシ(押田大)、発達障害。「刑法39条があるから刑務所に入らなくていいんだぞ」と、オレオレ詐欺のリーダーにそそのかされ、のんきにドロボーの旅に出るが……。

兄弟を演じているのは、監督の実兄弟。愛嬌・ユーモアたっぷりでありながら、障害者を取り巻く厳しい現実にはシビアなまなざしを投げかける。

出演 押田大／押田清剛／山田キヌヲ／斎藤歩／内田春菊／ベンガル／品川徹

監督・脚本：押田興将

©2011サンキューキネマ団
〈2011年／日本／カラー／デジタル／113分〉

公式ホームページ <http://39thankyou.com/>

第9回 精神障害者自立支援活動賞(リリー賞)募集のお知らせ 今回から「支援者」部門を加え、募集開始！

応募期間：2012年9月3日(月)～12月31日(月)※当日消印有効

【リリー賞とは】

- 困難な状況を克服して社会参加を果たされた精神障害の方々の中から、特に優れた活動をなさっている方を表彰します。
- この賞を通して、精神保健福祉に貢献されている方々の姿を社会に広く紹介することで、医療と社会の環境整備や充実に寄与し、精神障害(特に統合失調症)に関する理解を深める一助となることを目的にしています。

【応募資格】

- 精神障害者部門** 精神障害の当事者で、ご自身の自立または他の精神障害者の自立支援活動を、1年以上にわたっておこなっている個人または当事者グループ
- 支援者部門(新設)** 精神障害者の社会参加、自立を支援する活動を1年以上にわたっておこなっている個人、またはグループ

【表彰および副賞】

- ①各部門2組の個人またはグループを表彰します。
- ②受賞者には、表彰状と副賞(精神障害者部門 100万円、支援者部門 50万円)を授与します。支援者部門について、受賞者が医療関係者または医療機関である場合、副賞は、受賞者が支援する団体等に授与することといたします。
- ③都内で表彰式を開催します(3月上旬予定)。

【応募方法】

- 申込書に必要事項を記載し、郵送で資料を同封のうえ、事務局までお送りください。
応募の詳細および、申し込み用紙のダウンロードは、ホームページ(comhbo.net)へ。

【お問い合わせ先】

NPO法人地域精神保健福祉機構(コンボ)・リリー賞募集事務局
〒272-0031 千葉県市川市平田3-5-1 トノックスビル2F
TEL: 047-320-3870/FAX: 047-320-3871